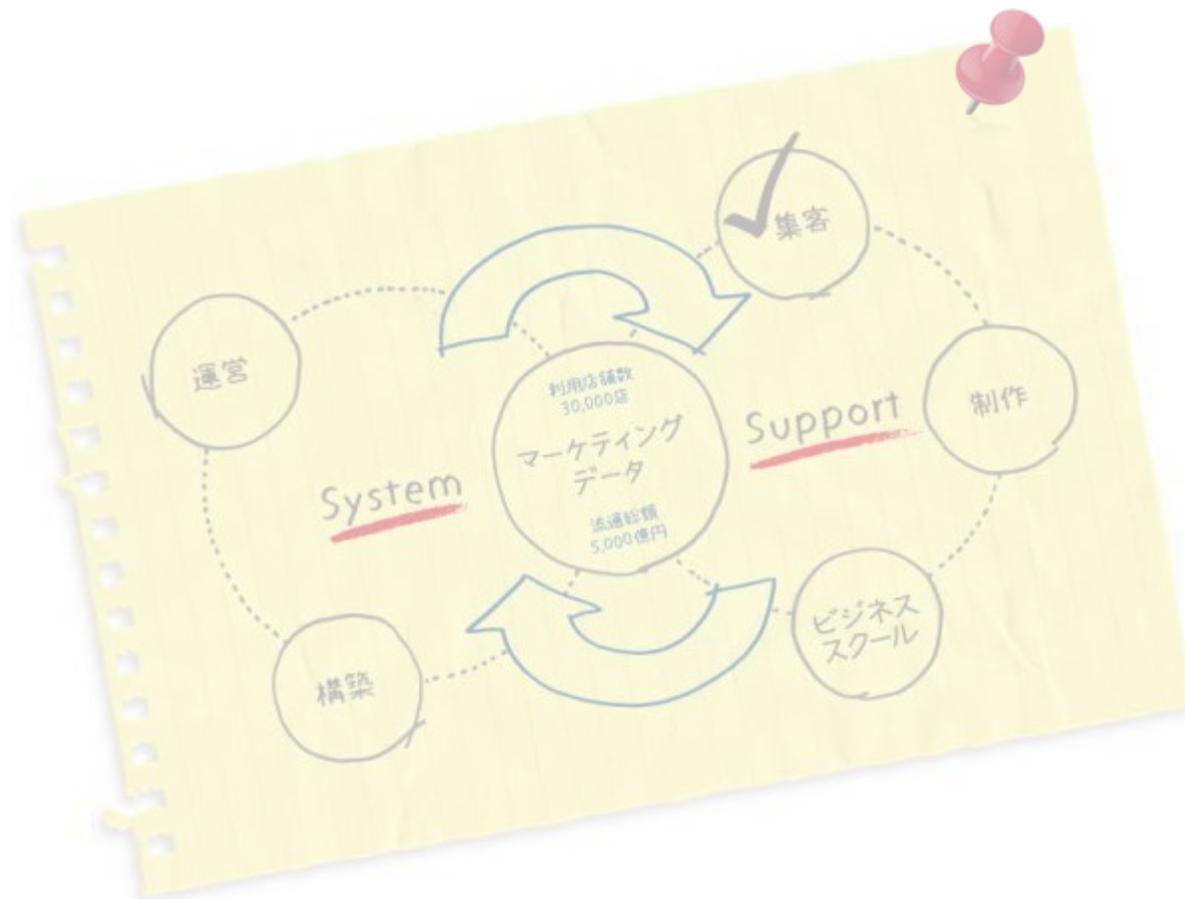


第 1 5 期
2 0 1 2 年度

ONLINE MARKETING AND SYSTEMS
Estore



平成 2 5 年 3 月 期
第 2 四 半 期 累 計

決算説明資料

平成 2 4 年 1 1 月 9 日

株式会社Eストアー

JASDAQ 4304

本資料および説明会での内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられます。投資のご判断の際には、本資料に併せて、有価証券報告書などの法定開示書類をご参考にして下さいますよう、お願い申し上げます。なお、閲読性を考慮し、掲載されている取引先様の機関名、会社名など敬称を省略させて頂いております。

- 1 概要
- 2 決算ハイライト
- 3 活動概要および
今後の課題と施策
- 4 会社概要

平成25年3月期 第2四半期決算説明資料

連結損益	百万円	前年同期比増減
売上高	2,973	+25%
ストック	1,179	△3%
フロウ	887	+13%
集客	787	+169%
その他	118	+55%
営業利益	353	+41%
経常利益	350	+39%
半期純利益	207	+37%

※1 当期より、売上高の内訳区分を一部変更しています。
 なお、増減率は、前年も同様に区分した場合の数値を記載しています。
 ※2 子会社売上高を、「集客」と区分表示しています。



売上高 29.7億円 (対前年同期比 +25%)
 (実質 +16%)

営業利益 3.5億円 (対前年同期比 +41%)
 経常利益 3.5億円 (対前年同期比 +39%)
 半期純利益 2.0億円 (対前年同期比 +37%)

主力サービス（自社販路のEC支援サービス）に注力
 システム提供からマーケティング支援への転換を推進
 数（顧客店舗数）から質（店舗の業績向上）への転換を推進
 顧客店舗の売上増によりフロウ売上が増大

マーケティング支援強化のための人材投資
 安定高速化のためのシステム投資

コールセンターの効率化（札幌へ）
 集客事業（子会社）のオペレーション効率化

累計契約数 ・ 前年同期比

累計 30,484 契約		自社販路	依存販路
前年同期比 -7,341		19,106 -660	11,378 -6,681
ショップ系サービス	27,285 -3,315	17,765 -612	9,520 -2,703
ホスティング系サービス	3,199 -4,026	1,341 -48	1,858 -3,978

主力サービス(自社販路のEC支援サービス)に注力システム提供からマーケティング支援への転換を推進
数(顧客店舗数)から質(店舗の業績向上)への転換を推進
顧客店舗の売上増によりフロウ売上が増大

全体顧客数	△7,341
■ 自社販路ショップ系 (主力サービス)	△612 △38
■ 依存販路、ホスティング系	△6,729

流通額 ・ 前年同期比

442億円
△10億円
2%減

受注件数 ・ 前年同期比

393万件
+10万件
3%増

うち主力サービス (大型店舗除く)

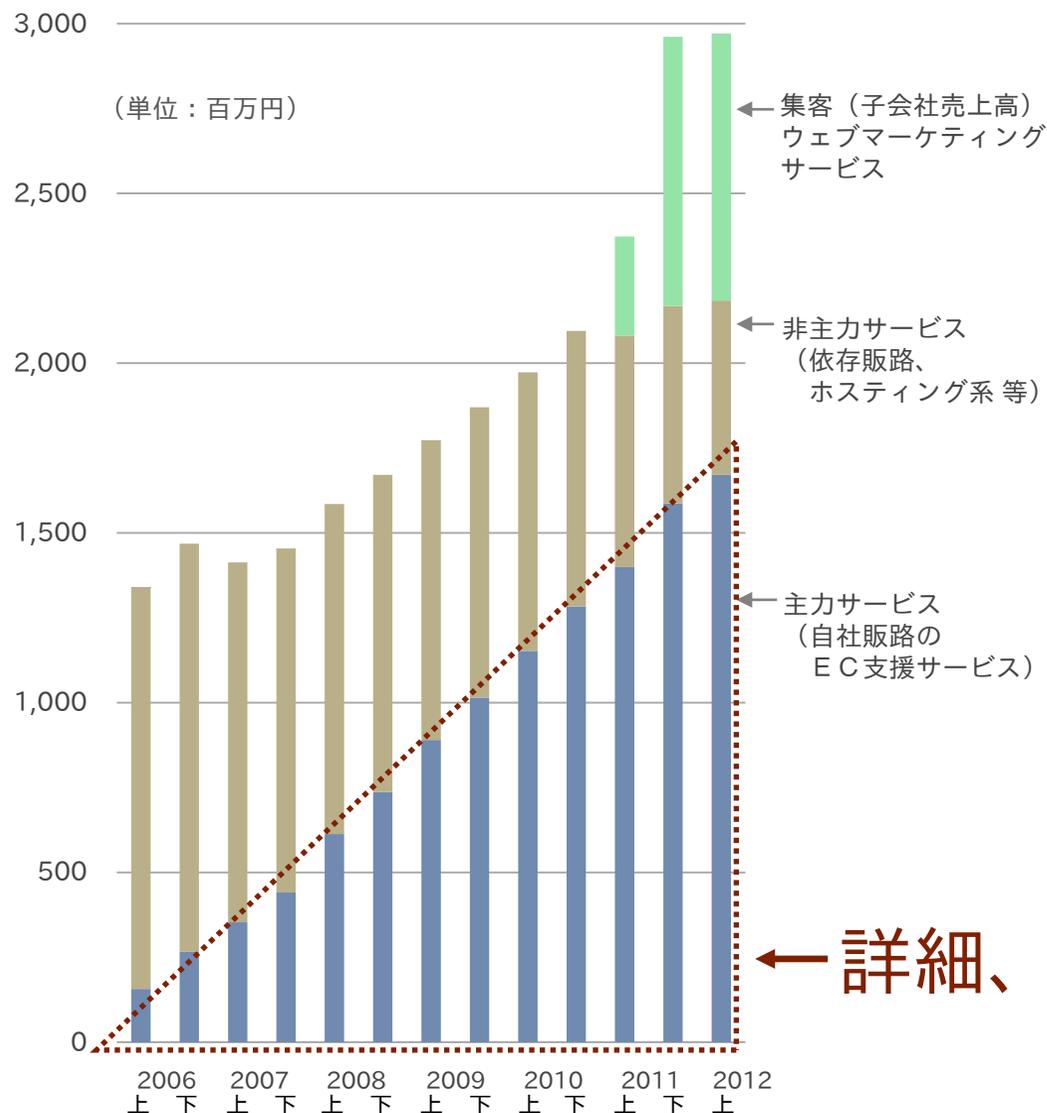
347億円
+45億円
15%増

311万件
+38万件
14%増

- 1 概要
- 2 決算ハイライト
- 3 活動概要および
今後の課題と施策
- 4 会社概要

平成25年3月期 第2四半期決算説明資料

【連結売上高】



主力サービス

（自社販路のEC支援サービス：ショップサブ）
の続伸により、連結売上高は拡大

サービス種別	対前年同期比	成長率
連結全体	対前年同期比	+25%
主力サービス	//	+19%
非主力サービス	//	△25%
集客サービス	//	+169% ^(※)

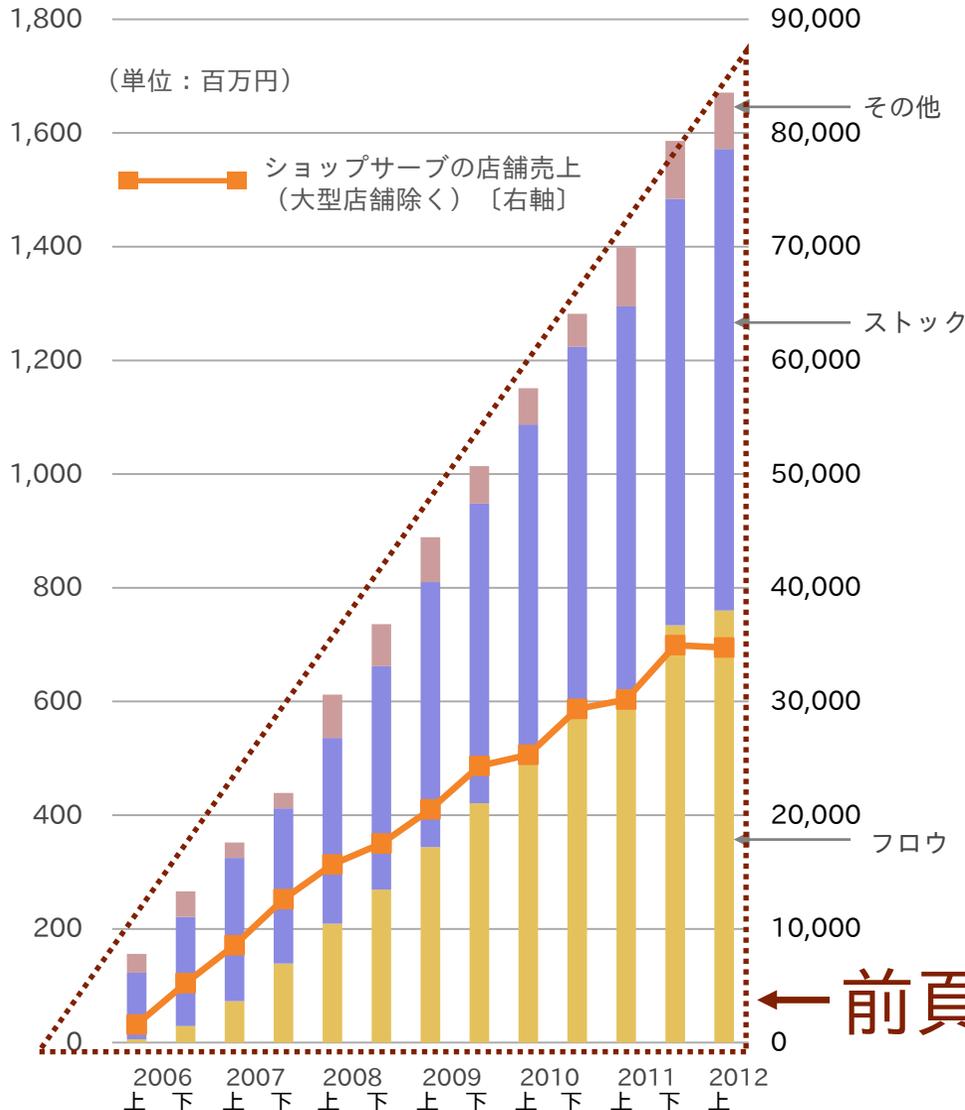
(※ただし、前年は3ヶ月分)

（補）集客サービスを前年も6ヶ月間見ると、

連結全体	対前年同期比	+16%
集客サービス	//	+65%

【主力サービスの売上高】

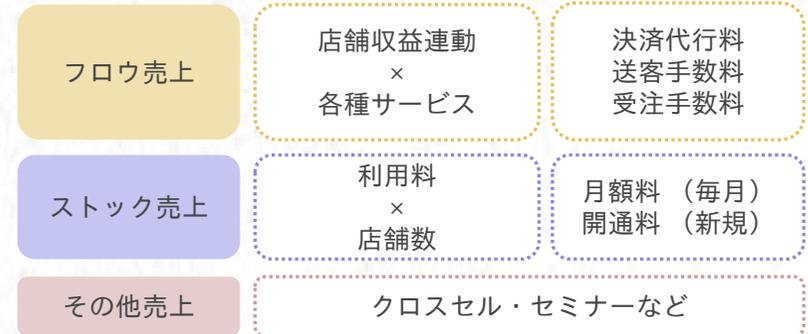
（自社販路のEC支援サービス：ショップサブ）



店舗売上高増大により、
フロー収益が拡大していることが
主力サービス続伸の主因

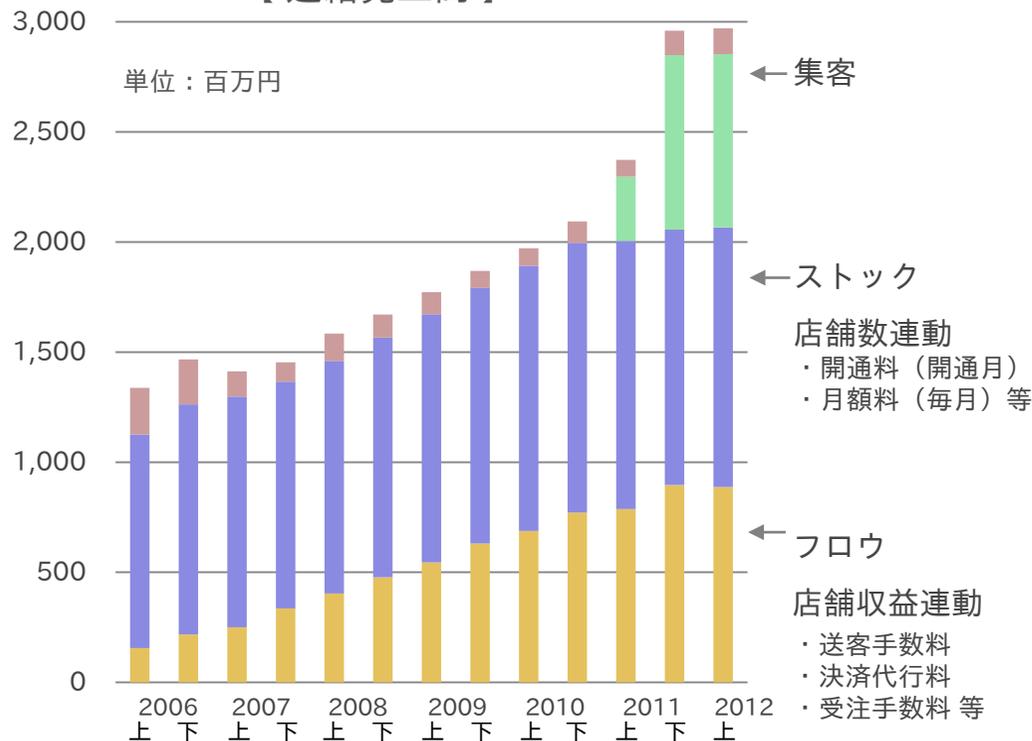
フロー 対前年同期比 **+23%**
店舗のマーケティング支援の効果
システムの安定高速化の効果

ストック 対前年同期比 **+20%**
スマホ対応サービスを有料化



←前頁より

【連結売上高】



フロー売上が増加（対前年同期比 **+13%**）

ストック売上が減少（対前年同期比 **△3%**）

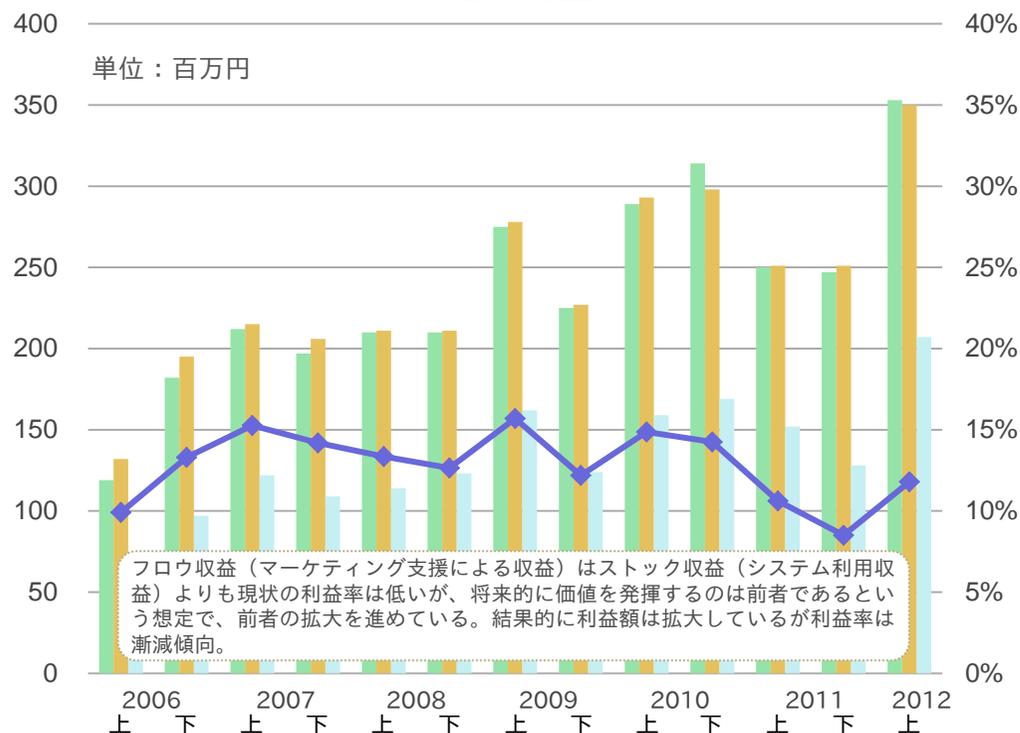
- －依存販路顧客数の減少（ // $\Delta 6,681$ 件）
- －主力サービスでも減少（ // $\Delta 38$ 件）
（数より質、店舗支援、フロー重視）

売上高（構成）推移

[百万円、百分率]

	2009 上期	2009 下期	2010 上期	2010 下期	2011 上期	2011 下期	2012 上期	対前年同期比増減
売上高	1,773	1,870	1,973	2,095	2,375	2,962	2,973	+25%
ストック	1,127	1,160	1,204	1,225	1,218	1,159	1,179	△3%
フロー	545	631	688	771	787	897	887	+13%
集客	—	—	—	—	292	793	787	+169%

【連結利益】



売上増、およびバランスのとれた投資により利益増

営業利益	353百万円	対前年同期比	+41%
経常利益	350百万円	〃	+39%
半期純利益	207百万円	〃	+37%

店舗のマーケティング支援強化のために、人員を傾斜配置するも、テクニカルサポートの効率化（札幌移設）により、人件費は横ばいに（対前年同期比 +0%）

システム安定高速化のための投資を行うも、過去資産の償却や、非主力サービス用資産の除却などにより、減価償却費は横ばいに（対前年同期比 +0%）

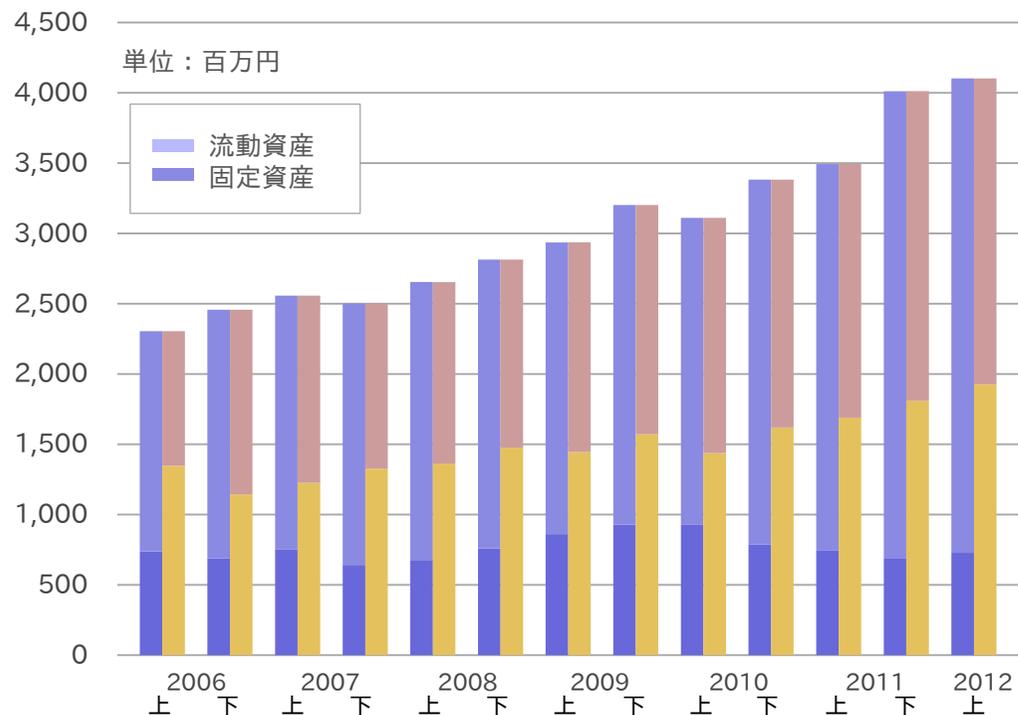
自社販路への集中により、結果的に販売費（広告費+代理店手数料）を抑えられている（対前年同期比 △8%）

営業利益・経常利益・半期純利益・経常利益率

[百万円、百分率]

	2009 上期	2009 下期	2010 上期	2010 下期	2011 上期	2011 下期	2012 上期	対前年 同期比増減
営業利益	275	225	289	314	250	247	353	+41%
経常利益	278	227	293	298	251	251	350	+39%
半期純利益	162	124	159	169	152	128	207	+37%
経常利益率	16%	12%	15%	14%	11%	8%	12%	-

【連結貸借対照表】



資産拡大（事業規模の成長による）

資産 4,102百万円 前期末比 +90百万円

純資産拡大（剰余金の積み増しによる）

純資産 1,925百万円 前期末比 +116百万円

固定資産横ばい

安定高速化のためのシステム投資を進めるが、固定資産の償却、除却とバランスされる

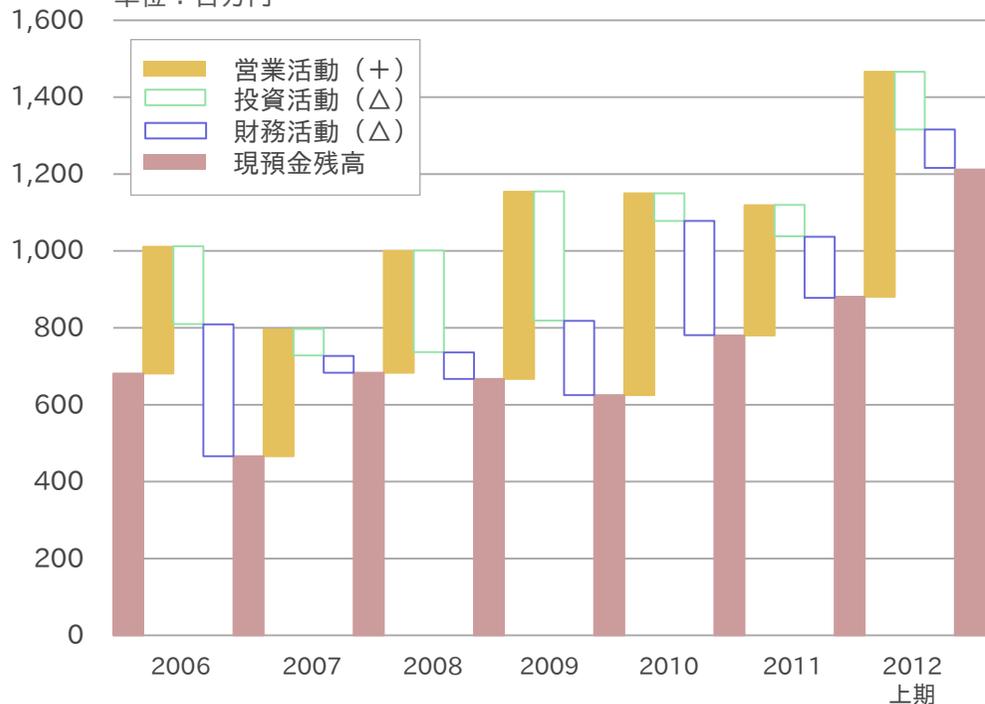
資産、負債・純資産の推移

[百万円、百分率]

	2009 上期	2009 下期	2010 上期	2010 下期	2011 上期	2011 下期	2012 上期	前期末比
資産の部	2,937	3,202	3,112	3,383	3,494	4,012	4,102	+2%
負債の部	1,492	1,631	1,674	1,764	1,805	2,203	2,177	△1%
純資産の部	1,445	1,571	1,437	1,619	1,689	1,809	1,925	+6%

【連結キャッシュ・フロー】(※実質ベース 顧客からの一時的な預り金(1,300百万円)除く、短期の定期預金(△300百万円)含む)

単位：百万円



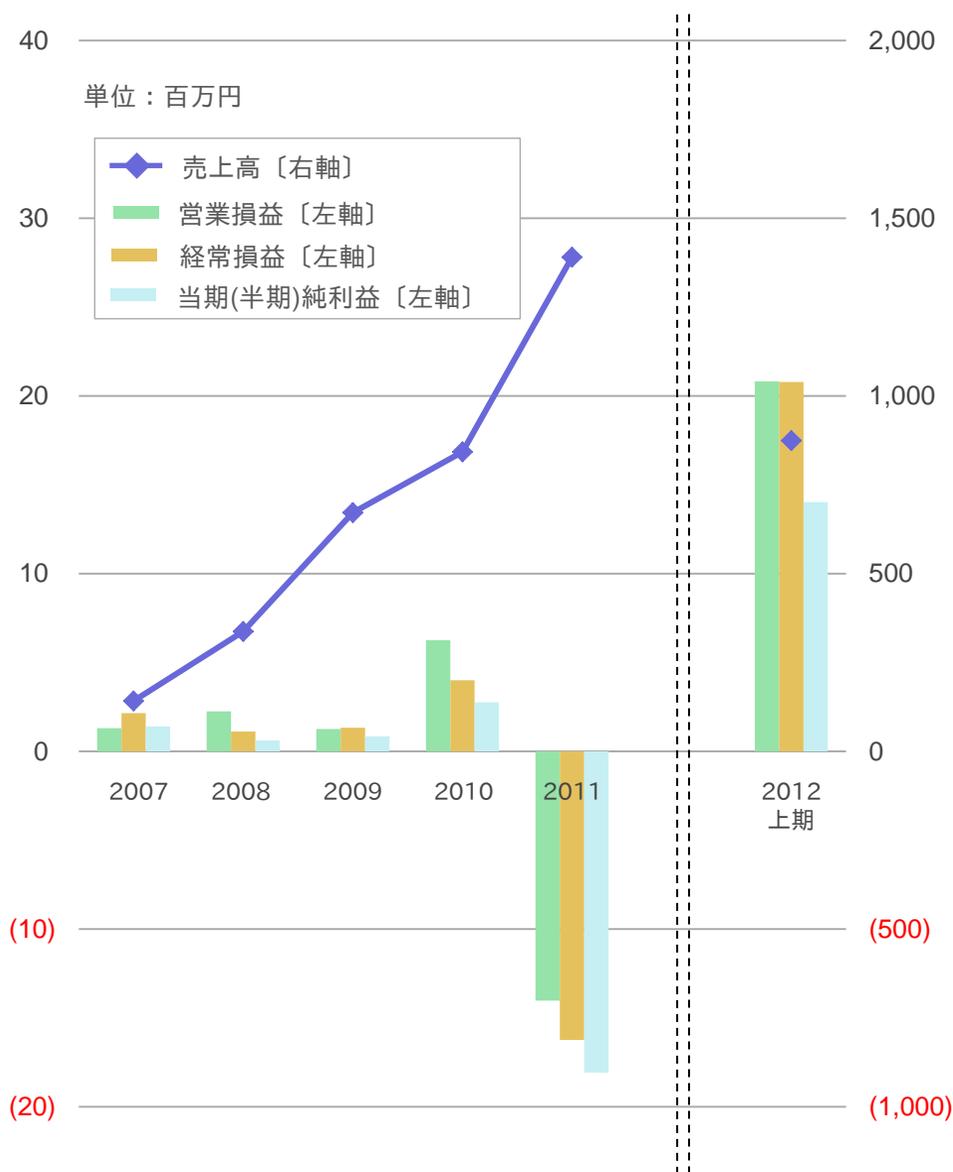
事業蓄積キャッシュを事業投資と株主還元

四半期末残高	1,212百万円
営業活動CF	+585百万円
投資活動CF	Δ150百万円
財務活動CF	Δ100百万円

(参考：キャッシュ・フローの推移 ※開示ベース)

[百万円]

	2009 上期	2009 下期	2010 上期	2010 下期	2011 上期	2011 下期	2012 上期	対前年同期比増減
営業活動	331	349	247	387	184	408	442	257
投資活動	Δ156	Δ180	Δ77	4	Δ17	Δ64	Δ450	Δ433
財務活動	Δ193	Δ0	Δ297	Δ0	Δ156	Δ2	Δ100	56
期末残高	1,539	1,708	1,582	1,973	1,981	2,327	2,214	233



大手依存度（利益率が低い）の低下、
および事業運営全体の効率化により
利益増

売上高	874百万円（対前年同期比 +5.1%）
営業利益	20百万円（プラス転）
経常利益	20百万円（ 〃 ）
半期純利益	14百万円（ 〃 ）

掛仕入の実現により資金繰りも順調

- 1 概要
- 2 決算ハイライト
- 3 活動概要および
今後の課題と施策
- 4 会社概要

平成25年3月期 第2四半期決算説明資料

ECの環境シフトに対応するための、抜本的な行動改革を実施中。

開店の10年から、売上げの10年に対応。 これに伴う積極的な投資を継続

- 施策面
- ・ 一巡したECの在り方から、第二楽章への転換施策 続行。
 - ・ ソーシャルによる導線変化と消費時間変化への対応。

- 製品面
- ・ 施策に準ずる。
 - ・ 安定高速を最優先。

- 財務面
- ・ 2012にひきつづき、BSをPL化してゆく。

- 組織面
- ・ 若返りと、ジャッジ速度アップ。

- 1 概要
- 2 決算ハイライト
- 3 活動概要および
今後の課題と施策
- 4 会社概要

平成25年3月期 第2四半期決算説明資料

設立年月日	1999年2月17日
資本金	5億2,332万円
発行済株式総数	51,636株 内、自己株式数 9,111株
本社	東京都港区西新橋1-10-2
従業員	157名 前期末比14名増 正社員128名、契約・派遣社員・アルバイト29名
代表者	石村 賢一
株式市場	4304 大阪証券取引所ジャスダック市場 2001年9月19日上場
	30,484顧客 27,285店舗 + 3,199サイト